



2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年2月9日
東証一部

上場会社名 株式会社ビー・エム・エル 上場取引所
コード番号 4694 URL <http://www.bml.co.jp/>
代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)近藤 健介
問合せ先責任者 (役職名)取締役常務執行役員 (氏名)武部 憲尚 (TEL)03(3350)0111
四半期報告書提出予定日 2022年2月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	136,710	39.1	35,517	178.7	36,788	178.3	24,054	178.1
2021年3月期第3四半期	98,288	5.8	12,745	42.5	13,217	43.1	8,650	48.8

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 24,640百万円 (179.2%) 2021年3月期第3四半期 8,826百万円 (40.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	592.29	591.84
2021年3月期第3四半期	212.90	212.67

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	163,440	113,106	66.0
2021年3月期	139,174	93,123	63.5

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 107,863百万円 2021年3月期 88,377百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	20.00	—	50.00	70.00
2022年3月期	—	35.00	—		
2022年3月期(予想)				35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	177,000	27.7	42,500	113.2	44,000	111.5	28,000	104.2	691.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社、除外 — 社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2022年3月期3Q	44,014,726株	2021年3月期	44,014,726株
2022年3月期3Q	3,652,102株	2021年3月期	3,367,662株
2022年3月期3Q	40,613,111株	2021年3月期3Q	40,631,343株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
3. その他	9
販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、ワクチン接種の進展や各種政策の効果もあり、段階的に経済活動が再開され、一部で持ち直しの動きがみられたものの新たな変異株の発生により感染が再拡大し、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況のもと受託臨床検査業界におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により患者数は弱含みで推移しているものの、新型コロナウイルス関連検査の需要が伸張していることで市場規模は拡大しております。しかしながら同業他社との競争は続いており、事業環境は引き続き厳しい状況にあります。

こうした中で、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高136,710百万円（前年同期比39.1%増）、営業利益35,517百万円（前年同期比178.7%増）、経常利益36,788百万円（前年同期比178.3%増）、親会社株主に帰属する当期純利益24,054百万円（前年同期比178.1%増）となり売上高および利益ともに大幅に増加いたしました。

以下に事業別の概況をご報告いたします。

臨床検査事業につきましては、新規獲得を図るとともに、新規検査項目、独自検査項目、重点検査項目拡販などの深耕営業を実施し、業績の拡大を図りました。また、新型コロナウイルス関連検査も堅調に推移したことから、臨床検査事業の売上高は、前年同期比41.5%の増収となりました。なお、新型コロナウイルス関連検査に関しては、今後も感染拡大と収束の波が見込まれるものの様々な状況の変化に対応できるよう検査体制を整えてまいります。

食品検査事業につきましては、食品コンサルティング、ノロウイルス検査等で足元の状況に持ち直しの動きがみられたことで、売上高は前年同期比6.4%の増収となりましたが、新たな変異株の出現により、今後、世界的な感染拡大も想定されることから、店舗点検の延期や中止等が見込まれ事業環境は厳しい状況にあります。

以上の結果、検査事業の売上高は前年同期比40.3%の増収となりました。

医療情報システム事業の売上高につきましては、新規販売において営業活動の制限を受けているもののオンライン資格確認の受注件数が増加したことや設置施設数の増加に伴い保守売上が堅調に推移したことにより前年同期比14.1%の増収となりました。なお、クラウド版電子カルテにつきましては、2022年4月にリリース予定です。

その他事業の売上高につきましては、調剤薬局事業で診療報酬改定(薬価)の引き下げの影響を受けたものの、新型コロナウイルス感染拡大に伴い外来患者数が減少した前年の反動を受け前年同期比4.3%の増収となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の連結財政状態は、総資産163,440百万円（前期末比24,265百万円増）、純資産113,106百万円（前期末比19,982百万円増）、自己資本比率66.0%（前期末比2.5%増）となっています。

主な増減項目は、資産の部では流動資産で現金及び預金が20,372百万円、受取手形及び売掛金が1,376百万円、それぞれ増加しています。負債の部では流動負債で支払手形及び買掛金が426百万円、未払法人税等が1,968百万円、それぞれ増加しています。純資産の部では利益剰余金が20,599百万円増加しています。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想の修正について

2022年3月期 通期連結業績予想数値の修正 (2021年4月1日～2022年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (2021年8月11日発表)	154,000	32,000	33,100	20,900	514円07銭
今回修正予想 (B)	177,000	42,500	44,000	28,000	691円14銭
増減額 (B - A)	23,000	10,500	10,900	7,100	—
増減率 (%)	14.9	32.8	32.9	34.0	—
(ご参考)前期通期実績 (2021年3月期通期)	138,571	19,936	20,803	13,711	337円44銭

通期業績予想修正の理由

2022年3月期の連結業績予想につきまして、2021年8月11日に公表いたしました連結業績予想を上回る見込となりましたので、直近の状況を踏まえ、現時点で入手可能な情報をもとに上記のとおり修正いたします。

当第3四半期連結累計期間においては、新型コロナウイルス関連検査の受注が想定を上回って推移いたしました。今後につきましては、まん延防止等重点措置の効果やワクチン追加接種の進展により、新規感染者数は減少していくことが予想されますが、新型コロナウイルス関連検査は、一定数の需要が継続すると見込んでいます。このような状況を踏まえ2021年8月11日公表の業績予想を修正いたしました。

※ 上記予想は、現時点において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	63,478	83,851
受取手形及び売掛金	30,410	31,786
商品及び製品	324	212
仕掛品	691	619
原材料及び貯蔵品	3,018	3,952
その他	1,106	2,091
貸倒引当金	△80	△56
流動資産合計	98,950	122,457
固定資産		
有形固定資産		
その他(純額)	30,685	31,966
有形固定資産合計	30,685	31,966
無形固定資産		
その他	3,807	3,902
無形固定資産合計	3,807	3,902
投資その他の資産		
その他	5,815	5,198
貸倒引当金	△83	△84
投資その他の資産合計	5,731	5,114
固定資産合計	40,224	40,983
資産合計	139,174	163,440
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,305	20,732
未払法人税等	5,756	7,724
賞与引当金	3,419	3,284
その他	10,926	12,899
流動負債合計	40,407	44,641
固定負債		
退職給付に係る負債	2,866	2,842
役員退職慰労引当金	246	222
その他	2,531	2,628
固定負債合計	5,644	5,693
負債合計	46,051	50,334

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,045	6,045
資本剰余金	6,705	6,715
利益剰余金	81,220	101,820
自己株式	△6,651	△7,704
株主資本合計	87,320	106,877
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	496	495
退職給付に係る調整累計額	560	490
その他の包括利益累計額合計	1,057	986
新株予約権	44	35
非支配株主持分	4,701	5,206
純資産合計	93,123	113,106
負債純資産合計	139,174	163,440

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日)
売上高	98,288	136,710
売上原価	60,672	73,327
売上総利益	37,616	63,382
販売費及び一般管理費	24,870	27,865
営業利益	12,745	35,517
営業外収益		
不動産賃貸料	45	45
補助金収入	67	969
その他	409	311
営業外収益合計	523	1,326
営業外費用		
支払利息	28	27
不動産賃貸原価	18	20
その他	5	6
営業外費用合計	52	55
経常利益	13,217	36,788
特別利益		
投資有価証券売却益	252	—
抱合せ株式消滅差益	—	20
その他	1	1
特別利益合計	254	22
特別損失		
固定資産除却損	45	63
減損損失	1	219
その他	4	0
特別損失合計	51	283
税金等調整前四半期純利益	13,419	36,528
法人税、住民税及び事業税	3,845	11,153
法人税等調整額	540	661
法人税等合計	4,386	11,815
四半期純利益	9,033	24,713
非支配株主に帰属する四半期純利益	383	658
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,650	24,054

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益	9,033	24,713
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△185	△1
退職給付に係る調整額	△21	△70
その他の包括利益合計	△206	△72
四半期包括利益	8,826	24,640
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,443	23,984
非支配株主に係る四半期包括利益	383	656

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用していません。また、収益認識会計基準第86項また書き(1)に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに行われた契約変更について、すべての契約変更を反映した後の契約条件に基づき、会計処理を行い、その累積的影響額を第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。また、当連結会計年度の利益剰余金期首残高に反映させるべき累積的影響もありません。

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

3. その他

販売の状況

検査区分		前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)		増減率(%)
		金額(百万円)	構成比(%)	金額(百万円)	構成比(%)	
検査事業	臨床検査事業 生化学的検査	35,567	36.2	38,620	28.3	8.6
	血液学的検査	7,444	7.6	8,120	5.9	9.1
	免疫学的検査	17,377	17.7	19,617	14.4	12.9
	微生物学的検査	4,690	4.7	4,821	3.5	2.8
	病理学的検査	6,380	6.5	7,052	5.2	10.5
	その他検査	19,505	19.8	50,467	36.9	158.7
	(臨床検査事業小計)	90,966	92.5	128,699	94.1	41.5
	その他検査事業	3,126	3.2	3,327	2.4	6.4
	検査事業小計	94,092	95.7	132,027	96.6	40.3
	医療情報システム事業	3,118	3.2	3,558	2.6	14.1
	その他事業	1,078	1.1	1,125	0.8	4.3
	合計	98,288	100.0	136,710	100.0	39.1